

地図をつくってみよう！ No1

自分用の地図をつくって、家の周りの地形や友達の家、学校などの位置関係を知ろう。

◎ 家の周りを思い出しながら描いてみよう

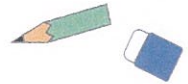
準備するもの： エンピツ、紙、マジック、消しゴム

準備が出来たら、家の周りを思いだしながら、

- ・紙の上に道を描いてみよう。道が出来たら、
- ・家や友だちの家、おじいさんの家、お店、学校などを入れていこう。

そうすると、ひとつの地図ができるよ。

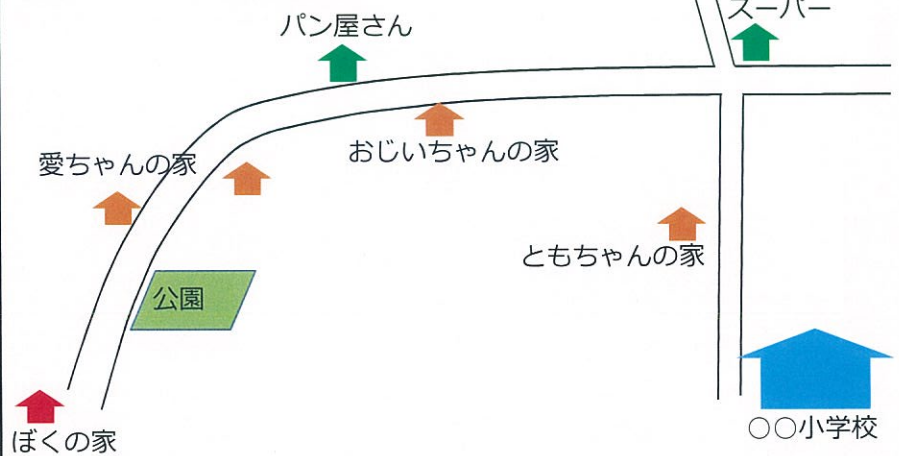
できたら、マジックできれいになぞってできあがりだよ。



え〜と、
うちを出てからパン屋さん
があって、おじいちゃんの家
があって・・・
・・・学校があって・・・



ほくの地図



そっか〜
パン屋さんより愛ちゃん
の家が近いや・・・

最初に道路を思い出しながら書いていこう。
全体が一枚の紙に入るように距離の間隔も考えるといいんじゃない。
とりあえず適当に描いてから直していこう



地図をつくってみよう！ No2

◎ じっさい ある 実際歩いて自分用の地図をつくってみよう。

じゅんび 準備するもの：鉛筆、紙、画板、定規、マジック、消しゴム、セロテープ
きょり 距離は、足の幅（歩測：ほそく）で測って、方角は進んできた方向を基に、向かう方向を紙の上に書いて地図を描いていくよ。

1. 紙を画板や堅い紙などにセロテープなどで固定しよう。
2. 歩幅が同じになるように歩いて練習してみよう。
3. 実際に測定しよう。
4. きれいに書きなおそう。



※ 道路は自動車などが多く走っているので、お父さんかお母さんと一緒に出かけましょう。絶対に子供だけではしないよう約束をしましょう。

1) 歩測の練習がすんだら出発。

その前に、用意した紙に出発点とゴール地点が入るように出発点の場所を用紙の上で決めます。

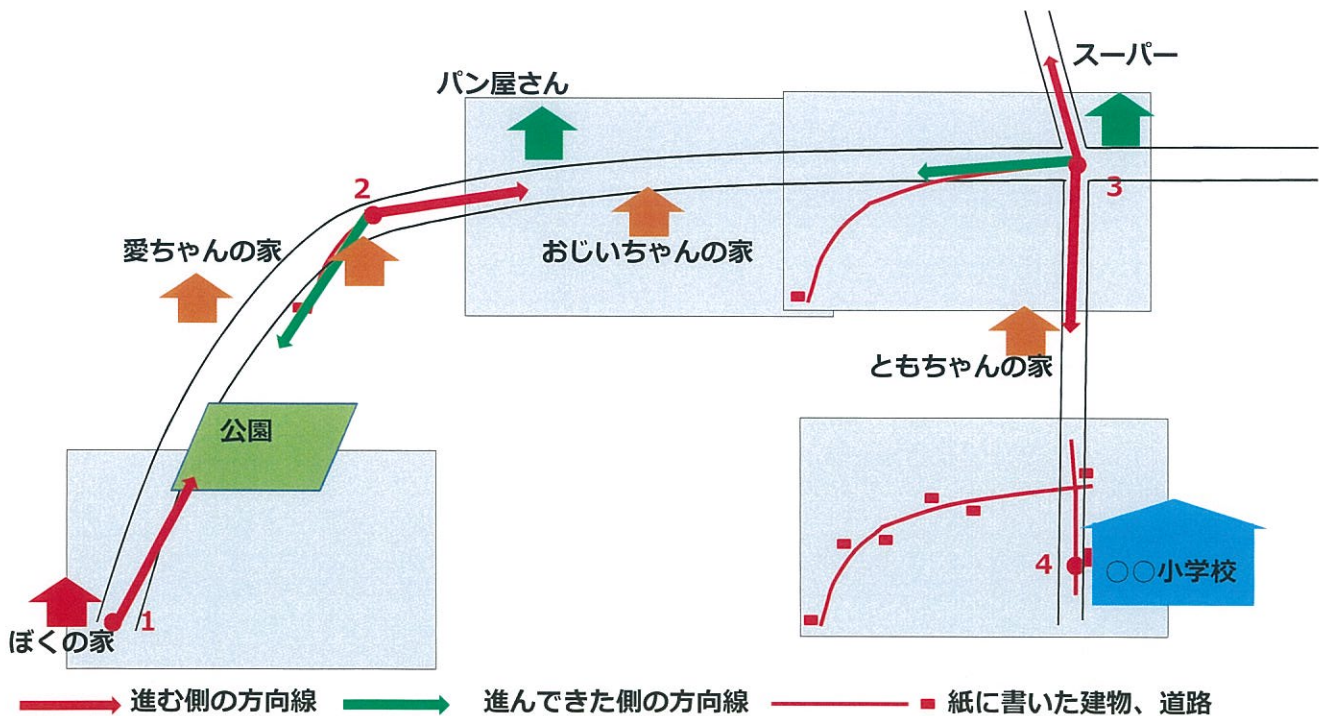
まず、地面に紙を置き、動かないようにして1の点から2の方向を定規で引く。大きく曲がるようなところを次の点にして、少しの曲がり紙の上でなおそう。終わったら、1の点から2の点までを何歩で行くか数えながら2の点に進むよ。途中の公園等は何歩かメモしておくよ。

2) 1の点から2の点まで何歩で歩いてきたか。その歩数分を1から方向線の上にするしをする。

(紙に家から学校まで書けるように1歩を0.5mmや1mmと決めておく。)

その点が2の点となる。

紙を地面において2の点を中心に1の方向に合わせてから3の方向を定規で紙に引き、2から3の点までを歩いて歩数を数える。途中のパン屋さんやおじいちゃんの家までの歩数もメモしておく。



3) 3の点は、2の点と同じように歩幅で3の位置を決めてから他の道路の方向線を引き、4の点までいくつか数える。

4) 3の点から4の点までの歩数分を紙の3の点から方向線上に落として4の点になる。これで、家から学校までの地図ができる。あとは、友だちの家など入れて書きあがりです。

地図をつくってみよう！ No3

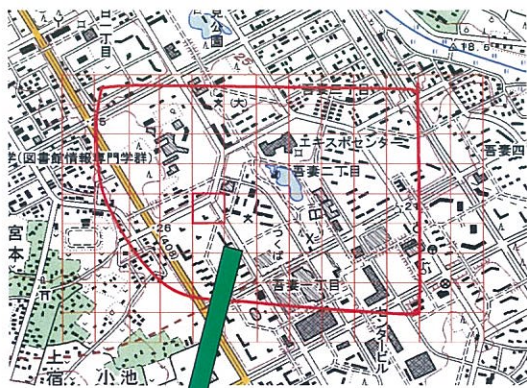
◎ できている地図を使って自分用の地図をつくろう。

準備するもの：鉛筆、紙、定規、マジック、消しゴム

ここでは、できている地図に方眼線ほうがんせんを引いて、紙にも方眼を引いて移す方法だよ。

1. できている地図に定規を使って、たて、よこに方眼線を1 cm間隔で引く。
2. 紙にも同じように方眼を引くけど、地図の大きさを大きくしたり、反対に小さくしたりする場合は方眼の大きさを変えることが必要だよ。
3. 地図の一つ方眼の中の道路を紙の方眼の一つに鉛筆で同じように移す。
4. 移し終わったら、マジックできれいになぞって方眼線を消したらできあがりだ。

1) 地図上に移す場所をきめて、方眼線（例として、縦、横1 cm間隔）を引きます。

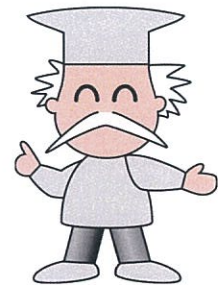


できている地図をうつす方法だね。

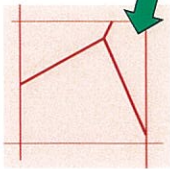


2) 紙にも、同じように方眼線を引きますが、同じ大きさなら地図に書いた方眼線の間隔で書き、大きく、または小さく描くときは方眼線の距離間隔をかえます。

ひとつひとつの方眼が目安になって写しやすいんじゃないよ



3) 一つの方眼の中の道路を紙の同じ位置の方眼に写します。



4) 道路が写し終わったら学校など入れて完成だ。



方眼線は、最後に消すんじゃないよ

他にもいろいろ方法はあるよ。工夫して自分の地図をつくってみよう。きっと何か発見できるよ